

今、静かなクラシック・ブーム その4
“のだめカンタービレ”に登場する曲を聴く

プログラム ***

今日は“月9”でのドラマ化、アニメでも放送されているクラシック音楽界を舞台にしたコミック“のだめカンタービレ”で流れた曲や、コミックの中で登場する曲を特集する4回目です。

一連の“のだめ”効果で、今、ちょっとしたクラシック・ブーム!!
特製ステレオでお楽しみ下さい。

“のだめカンタービレ”に登場する曲

メンデルスゾーン：交響曲第4番イ長調「イタリア」

～第1楽章、第3楽章終りから第4楽章

リッカルド・ムーティ指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 (1977年ザルツブルクLive)

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第8番イ短調「悲愴」

～第1楽章、第2楽章終りから第3楽章

クリスティアン・ツィメルマン (ピアノ) (2006年来日Live)

グリンカ：歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲

アーノルド・カーツ指揮ザールブリュッケン放送交響楽団 (1994年Live)

ラヴェル：道化師の朝の歌 (組曲「鏡」より)

スヴァトスラフ・リヒテル (ピアノ) (1994年来日Live)

“のだめカンタービレ”に登場する曲

【米倉ライブラリーから】

チャイコフスキー：幻想序曲「ロミオとジュリエット」

ユーリ・テミルカーノフ指揮

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団

(1985年ベルリンLive)

